

地方創生関連交付金事業(平成30年度実施事業)実施結果報告
 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

栃木県野木町

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	野木町の魅力発見バスツアー	地方創生推進交付金	1,553,368	転入者数	1,373人 (6人増)	平成31年3月	1,490人 (123人増)	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	(主な意見) ・移住先の選択肢として、野木町を知ってもらうのには、とても有効であると考えられる。 ・転入者数が非常に多いと感じるが、転出者数や社会増減の見える化、また転入転出者の年齢層等も把握した方が正確な議論がしやすいため、今後検討して欲しい。	事業の継続	本事業は当初より予定していた平成30年度をもって終了とし、令和元年度からはより移住に特化したツアーを企画、実施している。 本事業の参加者よりいただいたアンケート結果をもとに、町の観光資源等の更なる磨き上げをし、移住・定住者や関係人口の創出に繋げていく。
				定住促進補助金件数	100件 (4件増)	平成31年3月	77件 (19件減)					
				参加者数	70人 (10人増)	平成31年3月	55人 (5人減)					
2	ツール・ド・とちぎを核とした地方創生推進事業	地方創生推進交付金	700,000	公営レンタサイクル利用者数	58,902人 (3,290人増)	平成31年3月	73,482人 (11,214人増)	事業継続により、今後地方創生の効果が見込める	総合戦略のKPI達成に有効であった	(主な意見) ・競技のパブリックビューイングの展開も盛り上がりと思う。 ・基本目標である「人を呼び込むための魅力づくり」としては有効であると考えます。一方、事業目的である「関連施策の推進」にどう寄与しているかは今一つわかりづらい点があるように思います。	事業の継続	平成30年度の第3回大会では、コースは野木町内を通っておらず、当該事業が観光入込客数等の増加に直接影響したとは言いがたい。 しかしながら、令和元年度の第4回大会では、野木町内もコースに設定され、現在会議等準備を進めているところである。第4回大会では当該イベントによる町内への経済波及効果等が期待できるため、事業継続により地方創生の効果が見込めると考える。
				ツール・ド・とちぎ公式HP閲覧回数	20.4万回 (9.4万回増)	平成31年3月	21.6万回 (6.9万回増)					
				外国人宿泊者数	25.0万人 (2.6万人増)	平成31年3月	22.3万人 (0.1万人増)					
				観光消費額	6,410億円 (120億円増)	平成31年3月	6,297億円 (14億円増)					
3	子育て・介護・福祉・健康づくり等総合的相談窓口設置事業	地方創生拠点整備交付金	76,118,400	15歳から49歳の転出者数の減	1,081人 (50人減)	平成31年3月	148人増 (1,279人)	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	(主な意見) ・昨年10月から始まったばかりの施設のため、現在の数値について論議するよりは、継続して事業経過を見ていきたい。	事業の継続	平成30年10月より一部事業を開始、同年11月から各教室等を開催した結果、目標値までは至らないが、参加者を募ることができた。 引き続き、子育てしやすく、高齢者や障がいを持つ方が安心して暮らせる町を目指し、関連事業等との連携を更に強化し、目標値の向上を図っていく。
				健康な高齢者の割合	86.3% (1.0%増)	平成31年3月	86.3% (0.1%増)					
				健康づくり教室の参加者数	500人 (500人増)	平成31年3月	195人 (195人増)					